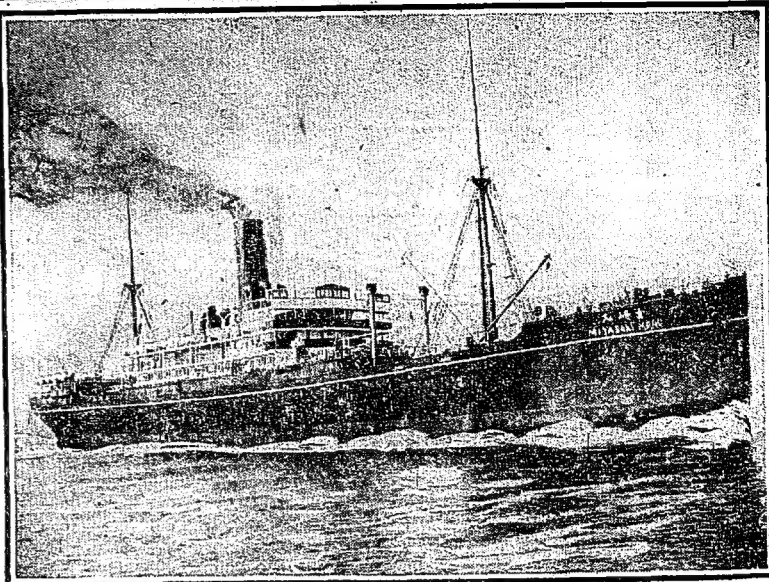






撃沈せられたる宮崎丸



# 朝鮮醫學會總會

總督の臨場 諸博士の出席

第七回朝鮮醫學會總會は、昨(二)日午後二時、京城醫學專門學校禮堂に於て開會せられたるに、定刻に及ばず、

# 長谷川總督は 古海軍務

長谷川總督は、古海軍務に造る、京城醫學專門學校に於て、

# 後任管長代理 大谷尊由師か

近松尊定師葬儀 本報記者は、昨日午後二時、近松尊定師の葬儀に出席し、

# 苗圃三棟焼失

江原道杆城郡内、苗圃三棟が、昨日午後二時、火災に罹り、

# 廿七棟の全焼

九日午後二時、廿七棟の全焼、同日午後二時、

# 宮崎丸英佛海峡にて 敵潜航艇に撃沈さる

英米海軍省は、昨日、英佛海峡入口の西方に於て、敵潜航艇の爲め、

# 各商船に先んじて武装

四時七の艦砲一門を備へた宮崎丸、今般に於ては、

# 無銭飲食の上

四時間大阪から東京へ、飛行機で、

# 江原道山火事

損害數百圓、江原道山火事、

# 毒殺を企つ

全北北道、毒殺を企つ、

# 自轉車乗逃げ

生れ、自轉車乗逃げ、

# 電車と馬車衝突

午後三時、電車と馬車衝突、

# 荷荷王長澤鼎氏 殺出に

荷荷王長澤鼎氏、殺出に、

# 苗圃三棟焼失

江原道杆城郡内、苗圃三棟が、

# 廿七棟の全焼

九日午後二時、廿七棟の全焼、

# 商況

輸入米の増減、南大門の相場、

# 仁川米

仁川米、仁川米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、

# 大坂米

大坂米、大坂米、





# 把手執る力

選手の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

明日に迫る全鮮自轉車競走  
初夏の空に響く海潮の如く、新緑の  
氣味、選手達の意気は倍々盛にして、  
請般の準備は全く整へり、大分の日  
は、選手達の全鮮自轉車競走、大分  
の日は、選手達の全鮮自轉車競走、大分

一流選手の花形  
（上）吉田、（中）田中、（下）田中

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

選手達の意気倍々盛にして  
請般の準備は全く整へり

## 本社主催全鮮自轉車大會愈々明二日

場所

光熙門内訓練院グラウンド

観覧隨意！場内賣店あり

午前正九時開會

（右）大分県立第一高等学校、（中）大分県立第二高等学校、（左）大分県立第三高等学校

神社とお寺の教會

江原道要陽の薬水

自動車の試乗

自動車の試乗

自動車の試乗

自動車の試乗

自動車の試乗

自動車の試乗

口演藝案内

大正館

大正館

大正館

大正館

大正館

大正館

大正館

二葉ポマージュ

二葉ポマージュ

二葉ポマージュ

二葉ポマージュ

二葉ポマージュ

二葉ポマージュ

二葉ポマージュ

二葉ポマージュ

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告

移轉廣告



第百六十四席 田邊南龍口演

折でいいます。家光公も兩家が相  
争をしたと云事を明にお喜になる  
麻左衛門公嘉明が隠居いたして式部少  
輔明成の代となつて奥州の會津を領  
して居りました處、如何なる天魔の  
魅しことやら加藤忠廣に誘はれて駿  
河大將吉忠長公にお味方をいたし、  
一頓事あらは奥州會津へ飛城して謀  
叛の旗を翻すといふ思召であつたに  
處、端なく陰謀露現いたした本多上  
野介は滅亡いたし、駿河大將吉忠長  
公は荷轡に於て切腹、其の外島居朝  
倉等流罪となり、加藤式部少輔も脱  
れる處なく會津四十萬石沒收身は

切腹と相成りました。賞罰の正しいことと三代將軍の御政治人望を感ぜました。大納言忠長公の于恩國千代君は未だ八歳の幼弱故松平右衛門大君正綱にお預けになつて居ります。家光公の爲には芳君のこと故被て安

泌尿器科 皮膚科  
 外科一般 花柳病科  
 院長 安部修三

安部醫院  
 京橋永樂町二丁目金光教習會

再興をさせ召出して還はさうといふ  
思召である、處へ芽出度も家光公の  
爲には御代領の君であつて後四代將  
軍家綱公と申し上げる若君が御誕生  
になられましたから、家光公の喜び  
は一方ならず、御誕生として罪ある  
者は免しそれゝ御仁免の御沙汰が  
ありました。

[illegible]

山縣五十雄先生譯  
 小說  
**過去の罪**  
 定價五圓四角  
 郵稅四角  
 親子の愛、兄弟の愛、主従の愛、戀人の愛、すべて人情の美を描き出したる量も美しき小説にして涙もあれば笑もあり  
 京城日報代振替京城三〇〇

寫眞  
 寫眞出版 振攝影  
 寫眞銅版 亞鉛出版  
 輕便而價格廉宜、以て、諸君に歡迎され、  
 京城日報社 寫眞製版部

[illegible]

付シへ金四十正製社  
 大正十一年  
 幾多の萬年筆中より  
 特に選擇して貴任を  
 附し發賣するものなれば躊躇  
 せず安心して直に御申込め  
 京誠日報社東京市本町三丁目電話三三〇〇番

模範  
牛乳  
石粉  
洗粉  
東京  
亞細亞  
三  
五  
電  
場  
目  
日  
正  
太

[illegible][illegible]

氣持よく治癒る

腦が病める。頭痛がする。  
便秘がする。逆上せる。  
夜眠られぬ。等の爲めに。  
多年苦んでゐた

腦神經病患者も



**主効**

- ▲腦充血 ▲逆上
- ▲腦膜炎 ▲耳鳴
- ▲神經痛 ▲咳嗽
- ▲腦貧血 ▲健忘

**價**

四回分二十錠	半回分四十錠
一週分七十錠	二週分八十錠
三週分九十錠	五週分一百五十錠
十週分一百八十錠	全回期の原水

健腦丸の効果

健腦丸を常に少量続け服せしめば逆上を引下げ疲通を失し熱る可き腦充血を快治し中風卒中を未發に防ぎ記憶力を増進する特効あり


  
 丹平商會

遊離の脂肪なく、些の混合物なき  
 純石鹼たらざるべからざるは、素  
 のここなりとす  
 皮脂の分泌量多くして而かも粗慥  
 人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髮の  
 ふべき化粧用石鹼は、皆に化學上  
 たるの故のみを以て、其適否を論  
 みつつわせし

化學上の純石鹼たるのみならず、  
 化粧上の純石鹼たるのみならず、

三ツ石

SUWA SOAP.

ical point of view, should dissolve transparently in  
 only MITSUWA SOAP fulfills that requirement  
 ing smell. It is absolutely free from all traces of  
 . It makes a soft, creamy lather, which cleans  
 t wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and s  
 illet, bath, or nursery.

The pure soap, from chem  
 with no sediment at all. Not  
 possesses a delicate and refreshi  
 and contains no "free" Alkali  
 thoroughly, and wears to a las  
 every moment of its use for to

鹼

一、性状を具備す。  
 一、原料を精選し、脂肪に、香料に  
 を感すべき虞れあるものを用  
 一、温雅の芳香を有す。  
 一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性  
 而かも浴室に用ひて半途に溶  
 即ち、一般の家庭に於ける、浴室、  
 濟に合する、理想的實用品なり。

[illegible]

資本金  
 積立金  
 貳千貳百七拾萬圓  
 壹千〇五拾五萬圓  
 京城本町二丁目(振替貯金京城二一番)  
 株式會社  
 第一銀行  
 京城支店  
 支配人 西村道彦

銀行一般の業務は確實を旨とし、精々御便利に取扱申候  
内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候  
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候、

浴槽用

種大 形家庭用定額金式浴槽  
種中 形攜帶用定額金拾壹圓  
種小 形旅行用定額金拾圓

東京振  
京警  
日本  
日東

丸見屋商店

油ツロッド スミ ツミ

---

# 丸見屋商店

橋本町四丁目  
番七〇一


は左の  
魚は

なる本邦  
純石鹼  
に用い  
可らず

化学上の  
より當然

無
種小形
線部川
定銀金五
錢

を備へて、能く水にも溶解し。  
 のり、崩るゝが如き憂憂なし  
 化粧用として、衛生に叶ひ、經  
 荷も刺戟  
 せず。



ワ・家・庭・薬

電話特長浪花

番(四四四)番(四四四)番(五五四)  
 番(三九九)



京城壇

渡瀬常吉

自分と朝鮮との關係は可なり深く既に二年の親みがある。自分が傳道事業を以て、朝鮮の同胞に貢獻せんと期する處は一二にして止まらぬ。要するに何卒して内鮮一體の理想を徹底せしめたのが、予の年々抱懐する希望である。

何人とも、今日内鮮一體と云ふ事に異存があるまいが、其の所謂一體なる意味は、單に形式上同じ船に乗つて居ると云ふ様な意味合附りでなく、其の權を取り、帆船を引く舵を操して、同じ方向に進み行く一切の動作をも分ちたいと云ふのに在る。斯る意味に於て、内鮮一體と云ふより、朝鮮半島に光輝ある文明を開發し得たならば、茲に併合の眞目的が達せられ朝鮮の同胞も日本と云ふ内に一大光明を證めて、共に俱に進步發展を遂ぐるに至ると思ふのである。是に於て初めて、内鮮民族は一體不離共、憂が共に憂ひ事の可能る、最も意義ある現象を招徠し得るのである。

内鮮人が漸然一體と成る可き手段方は幾つあるに相違ない。例へば互に其の言語學を合ふと、直接に肝膽を吐露し得るに至ると、其の一であり、或は農商工業を経營して、利益が合ふと事共一であり、或は相互に智識を交換して、親睦を敦する如き事、其の一であるが、是等の事は既に著々其の歩を進めつゝあるが、更に一層其の途を闊けて見たいと思ふ。尤も既に是等の目的の爲に設けられたる團體の活動に就ては吾人は陰に陽に微力を捧げるが極で居るが、吾人の立場としては、更に進んで、互の希望と理想とを一に、一大根柢を確立するの切實なるを覺ゆるのである。

我々は各、過去を有する。而して此の過去の歴史は、現在並に將來に大關係を有し、其れよりして將來の理想が望みを生ずるものと云へるが、併し將來の理想と希望とを導き出すにすれば往々異なる方向に進まねば成らぬ束縛を感ずる。故に古人も

「共に生れる事は可能なかつたが、即ち各々異つたる道を経過し來りたるにも拘らず、將來は一死以て國家に盡すことだけは一にしたい」と嘗つた。過去の歴史中、將來の希望理想に資するに足るものは、無論我が現在及び將來の生活の力として心に止めねば成らぬが、其の他の事は所謂過去をして過去を葬らしめ、我等は茲に新たなる目的を成就する爲に、一大理想を我が胸中に描き、其れに向つて突進せねば成らぬと思ふのである。古人は後るに在るものを忘れに在るものを望み、進みて之れを取らんと思つて若ると言つたが、内鮮兩民族は宜しく斯かの態度を以て提攜協力しなれば成らぬ。如何に考へて見ても、我々が半島千百萬の同胞を飛越えて、大陸に文化を樹立發展せしむる事は可能である。又朝鮮の人々が、如何に振發しても、日本を遙し來れる文化の精華を擲るでなければ、大陸に輝く様な文化は到底造出す事が可能ないのである。

即ち兩者が分立乖離し居ては、大陸に於ける光輝ある使命を果たす事が至難である。此の點より考へると、日韓併合は海に意欲派一大事實であつて天が此の兩民族に打つて爲し、互に其の短所を捨て、其長所を採り、益々結合を固うして、大陸に一大文化の光輝を放たしめんとし給ふ其の時代を超越したる神の偉大經驗と言はねば成らぬ。而して是より將來の影嚮は決して少くはなはず、吾人は有て初めて、滿洲支那及び西伯利亞方面に及ぼす我々の影響は決して少くはなはず、乃至西伯利亞も、若し世界文化の光明に接觸する事が可能、而て是等の方面にも、世界的文化の光輝を燃發せしむる事が可能なのである。

斯の如く考へるると、日本が朝鮮に先立つ事五十年にして、既國進取の方針を採り、世界的文明を自己の自覺に依つて開發適用しつゝあるのは、朝鮮を大陸に於ける根柢として、支那、滿洲及び西伯利亞方面に向つて、世界的使命を果さしめんとする、上天の福運であつたと言へ更に、予が直接其の術に磨り居るが、傳道事業の方面から觀察すれば、吾人の意義が深い感がある。内地に朝鮮人とは、之を歴史的に見ても其の根柢を一にして居るであらうが、同じ信仰に入つてみると、互の靈氣が微妙に感應し共鳴し合つて、共に衷心に力なく我も可能、共に神を滿して、神の前に詣づく事も可能、神の前に詣つて居ると、朝鮮神の兄弟姉妹と神の前に詣つて居る兄弟姉妹と神の前に詣つて居る兄弟姉妹と、其間に死に何等の區別も目を見出し得ず、全く靈感靈動の靈滿一體と云ふ事が、形式の上から一些無い。斯かる深い消息に入ると、内鮮一體と云ふ事は、精神的一體、深所に進み、竟に精神的一體、靈性的一體となり得る事を、少しも疑はない。故に吾人は、内鮮一體の希望理想とを、宗教上の感化の中の一、一層能く實現する事を信じ、一年一度發展の徴候が見るのは、眞に感謝する所である。

宗教は何人が傳へても、同じ方向に進むのであるから、其の妙味に於ては、内外人に依つて必ずしも差別があるとは言へないが、併し日本人が同胞に對し、又最も性情を寄しうる長、殊に國家の大目的の爲に一にして居る者の爲に對すこと、所謂靈感の上に出がらざる表現のものは已むを得ない事である。又吾人内地人が、朝鮮人の爲に負ふ責任は二重三重、四重と重り合つて足る。我々は外國人にの爲に、我々の爲に盡し異れるから夫れは我々に足りとして、要關たる事は我々に底我々の忍び得る所でない、こればかりが自らの微力をを顧みず、奮然として朝鮮教化の責任に降り、今日に至るまで、斃れて後己むの精神

支那商工業の變遷(古) 今關天彭  
七、兩漢及び三國時代の商業(其二)  
我等はこゝに漢代の交通を略叙する時に至つた。東西洋の交通の起點は實に西域の張騫と後漢の班超といふ兩大探險家の出づるあつて、始めて幕が開けたのである。張騫は武帝の命を奉じて西域に行き、各地を跋涉し、此によつて輸入された物産は、大宛(最罕汗國)の天馬、條支(今の土耳古の西蘭地)の大馬を最も著しきものとした。當時にありては支那と直接貿易するものは、身臨即ち班超で、間接貿易するものは大宛即ち今の布哈爾、阿富汗二國の分地のみな悲惨國外の大國である。この身毒、大夏の二國の支那貿易物は、取と罽布とが重要なものであつた。但し張騫が旅行したところは亞細亞本洲のみであるが、班超に至つては歐羅巴にまで達した。和帝の永元年間、甘英といふものを大秦に使させたことがある。大秦は今の伊太利で即ち古の羅馬である。甘英は條支に至つて大海に臨み、まさに渡らんとしたが、安息(今の波斯)の使の人のが之をさぐめたので中途で歸つたが、その後遂に通することになつた。初め大秦王も使を漢に通じ安息國のために遮られて送せられなかつたが大秦王康度の使が安息國からでなく、日南即ち今の安南の地からして始めて支那に通じ象牙等の物を貨物として持つて來た。それから商人が揚州即ち今の廣東の地に充満するやうになつた。漢代の交通は亞細亞では、印度等の國、歐羅巴では羅馬であつたが、支那から輸出される商品に絹、織を大宗とした。これから見ても支那の輻物がいかに發展して居たかと思像せられる。三國の時、孫權は揚子江流域を領土

今關天彭

[illegible]

鮮運實值

○無雙蘭機 大久保蘭香  
 降臨曲宮蘭柙元似嬌 嬌麗三味境  
 一櫻心亦英能親語 嬌意却嬌嬌  
 下酸子手微香綠空林  
 評曰 詩亦香妙絕七八十餘韻  
 ○春日風情 兄島 九皇  
 枕兼何架鼎料 詩麗地生側生風音  
 確確春芳好 嬌嬌何處意何人  
 評曰 語意嬌麗  
 ○春江垂箔 曉兒 雲雲  
 薄水江緣接 一半散 散散散散  
 未解魚鰓心 心在岸 岸岸岸岸  
 釣獲之多少 是時是時 半日悠  
 樂只可樂耳  
 ○花下逢友 安永 春樹  
 雲一帶 江天 柳絮 以光映雪 忽  
 莫忘 春語 依然 舞似中健  
 評曰 陸上遊人每年加斷 寄知  
 王郎故進依然 何等感懷

<p><b>國民の責任に</b></p> <p>初夏に警戒すべき皮膚病癩瘡</p>	<p><b>國際政局と日本</b></p> <p>トク長瀬 トル鳳輔</p>	<p><b>朝鮮は女に何んな要</b></p> <p>二島太郎サンの顔</p>	<p><b>東洋第二世界戦に對する國</b></p> <p>原敬</p>	<p><b>名士と雄辯</b></p> <p>盛谷小波 吉垣公</p>	<p><b>鮮滿大陸發展</b></p> <p>(社論)</p>	<p><b>政戰の跡を顧み</b></p> <p>山縣三郎</p>	<p><b>大戦の推移と國民的覺醒</b></p> <p>男高橋 篤是満</p>	<p><b>モンスターの行衛</b></p> <p>藤太山</p>	<p><b>農業的工業</b></p> <p>雷太山</p>
<p>有馬 易水 岩本鐵路</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>	<p>ハ人物國分三亥論 易水</p>

[illegible]



三千六百餘本、斷伐數四千四百餘  
て施行せられたるが、長谷代、理流谷、第一部長を初め、官民多數の會黨あり







竹匠

「では申上りますが、市野さんは、御別荘に居ります。老爺の女に、御關係がありやしないかと思ひますが」

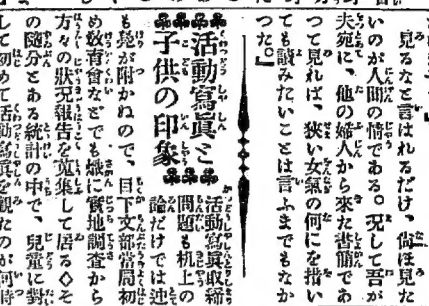
京平は、思ひ懸けもない田淵の言葉に、胸を藏かせて

「其處ことがでざいませうか？」と呆れたやうな顔をして、田淵の顔を凝乎と見た。

田淵の言葉が動機となつて、京子があき起した時、この間市野が、田淵と一緒に來た時、田淵だけは歸つて市野は其夜泊つたが、翌朝早く起きて門外しの煙の徳を散步してゐる程

呼つて、取り上げて封筒を見ると拙い女の手蹟で、日本鐵座株式會社の所在地を肩書にし、そして市野の所在地を打明けてある方が誠に怪しきものであり、それを見たと神奈川縣鎌倉郡山之内市野村御別荘にて牧野琴子としてあつた彌吉老爺の名字が、牧野といふことは、京子は知つてゐた。牧野とあれば老爺のと書いてある上は、老爺のつて琴子と書いてある上は、老爺のから來たのは、間違ひないやうに思つたから、胸は早鐘を撞くやうになつて、顔色は心持紅を呈上て來た。

「什麼して這麼苦悶が御手に入りま

[illegible]

後浴 紳士の  
賞用

か云ふと、大抵六、七歳ぐらゐに  
初まつて居る、而してどんなフイル  
ムが好きかと云ふ問には何んと言つ  
てもチアツプリンの喜劇に止めが測  
され欠がハムとチビの喜劇と云ふ二  
合〇點にあつては頭が痛いと思はる  
かと云ふのに「頭が痛いと思はる  
か」と云ふ答が數多く占め、活動寫  
眞を見てから眞似たいと思つたこ  
と」と云ふ奇抜な答問には勿論、星  
上松之助の惡術を道つて見たいと云  
ふのが一番ずうにある、〇更に活動  
寫眞に出る俳優の名を問うと、一  
人の小學生が堂々と言じて、三十幾  
人も立派に書き列めたのがあつた  
は素晴らしい、〇而して一體に女子  
の生徒になるこ、斯う云ふ聲問に答  
へるのが、兎角男子の言より遠慮盛

科経世界 六月 一、理化(物理・化学) 植物学及  
 動物学 生理學、天文地理、古蹟及研究其他  
 の各論に分類及研究の記を載す 二、二十五條  
 東京米能商會(四月八日共註)  
 三、大宮(四月六日) 自己會館(永井桐太  
 郎) 日本人日本土木山田主幹等及女其他  
 問は、河野龍二、城下田中、山田主幹等及女其他  
 (十六條東京芝草平一草註)  
 四、學生(六月號) 高等師範大學附屬中等  
 一高等師範大學附屬中等の記を載す(初め  
 中學生向の施設) 二、二十條東京山田  
 泰輔(附屬中等)

内、他の列車に  
 比し、朝鮮鐵道の  
 氣持のよい事は  
 今更ら云ふ事も  
 ないが、只設備來  
 著、遺憾とする

處は内地各驛にもるが如きつきば、  
 のなき事である現在有る驛數なんか  
 は何でもいふ是非、つきば、各驛  
 に設けられん事を鐵道當局者に望む  
 秋夫さん、仁川生に告ぐドクトル、  
 んて名許りと云ふ評判だ、是で顔枯  
 度よいコンラストだらうお隣者さ  
 んだつて時には喧嘩もせにやあ病氣  
 になるさ(仁川仲町) 大和町老人

ヒゲソリ後の家庭  
カー

なく彌吉の女も門外へ出て、宛も馴れず何にか馴してゐたことを、座敷の縁に立つて、遠慮しに見たことであつた、何物でも色眼鏡を通して見ると、其通りの色彩に爲るのと同じやうに、田淵の言ふことを信ずると、夫で彌吉の女との間に、何にか秘密があるやうな氣が爲てならなかつた。

『急う申上げるには、それ相當の證據があるのでしてねえ。』

『證據を申しますぞ?』

『今御覽に入れませう。』

田淵は立ち上つて、書齋へも住つたが、鑒て一通の書簡を持つて來て京子の前へ置いた。

『證據を申上げましたのは、此書簡です。』

『これは誰れの書簡でございますか?』

『彌吉老爺とかの女のです。』

『驚きましたねわ』と京子は眼を

したのでございますか?』

『平素貴女から御覧みもございまして、貴女の御身の上に深い御同様の御舉動には、常に注意を致してゐるのです。だから市野さんへ來るやうな氣を付けてゐたのですが、昨日、此書簡が届いたものですから、私が持つて歸つて來たのです。』

他人の親書を開封するのは、善くいことは知つてゐますが、事情が事柄だから、横は手開封して讀んで、實に驚きました。此書簡から、處へると、市野さんは、何時の間か、彼の婦人に御接近なすつたことがあらぞ見えます。

田淵の言葉は、恰も火中へ油をぐやうなもので、京子の嫉妬の火は、略に燃んに燃ねれば已まなかつた。

『眞實に驚きましたわねわ。』

『全く驚きました。』

[illegible]

亭附及及び南山町生の兩親愛犬家に告ぐ人間の今日其の米を得んが爲め南法と大と何れが大切か恐らく兩士は大力を大切と思ふだらう我輩さにはあらず南法の方が大切なり何れに貴公等は夫税を十圓にせよこの思願をはかるやそりや大も可愛き可憂けりやこそ養うて年に二圓の税を掛けらざりながら大の偏愛は一つの樂しみにあらざるやに側養上に寸分容れ易あらずにまして一戸の營業稅月別割より以上に或は同等なる税金をそれすら容易にあらざるに十圓十圓の馬鹿げた兩士は多分遊金の莫大を所持しての左様なる思願を唱ふるを存す少しは人の事を思ひませ遊金あれば御身だけ出し給へ貧息生

▲昨今の京城市中の轍水車は南大門通五丁目の様な模範道路には車の大なる轍水車を立てて貰ひたいがねほころびて余商店は大困りだ(やかまじ生)

○果効○

色を白く、キメを細かにし、  
 アレを防ぎ、色艶を好くし、  
 白粉下、トキ水によく  
 男子供衆の皮膚を丈夫にし、  
 夏にっき色が白く、襟に見せ  
 紳士の髭そへ後に適す

# 化粧料液

本館 堀越嘉太郎商店

價 定	
大瓶八十銭	送内附
中瓶四十銭	料無地附
小瓶二十銭	

浴後ヒソゲリ家の後庭化粧料  
木カー液

賞用士の

價 定		アレを防ぎ、色艶を好くし 白粉下、トキ水によく 手供衆の皮膚を大夫にし 主れつ、色が白く様に見せ 紳士の髻そり後に適す
大瓶八十銭	中瓶四十銭	
小瓶二十銭		
送内 料無地鮮 料無地鮮		

酒清良醇



仁川本町四丁目  
吉金酒店

寫真材料  
寫真機  
目丁二町治明府城京  
店商屋崎長  
番〇三二二話電

●マブリアに二乗  
ヨクキククスリ  
龍山林薬房製煉の  
マブリア特効丸  
草金十錢三十錢五十錢  
價銀七セモノア御注意  
本舖龍山林薬房  
京成本町一丁目  
代理店 山岸天祐堂

森  
カ  
フル  
カ  
フル  
カ  
フル

第二七五巻  
三城  
吉原

前 日 正 午

最も衛生的で最も  
消化よく常用として  
安心第一の菓子

森永製菓株式會社

◎此筆の覇王グラス萬年筆  
本廠バレット會社製  
真正十四金ニ先付  
最新インキ止式



○此筆は、其の他國産に多ク明鮮色代理店  
京成本町二丁目電話四四五番一橋區東城三五六番  
訂本藤次郎本生

釘本藤次郎本店


 佳<sup>カ</sup>味<sup>ミ</sup>方<sup>ホウ</sup>香<sup>コウ</sup>  
 粒<sup>リツ</sup>魂<sup>コン</sup>快<sup>カイ</sup>

執務の時や煙草の前後には先づ  
仁丹召上れ瘴氣を去り元氣を復す

●仁丹の五拾錢包に添付の  
ブック形容器

消化不良、胸腹の痛、  
食欲不進、頭痛眩暈、  
舟車の暈、精神鬱結、  
中暑傷寒、惡醉惡心、  
吐瀉下痢、惡疫豫防。

金言

完全なる教育を子女に残すは最良なる道徳なり

(スベンサー)



大坂式樣

同新	東洋製糖	大和	大和
二六八・一〇〇	一八八・八〇〇	二一八・八〇〇	二一八・八〇〇

二日鎖

十付たる上り置  
 八付たる上り置  
 七付たる上り置  
 六付たる上り置  
 五付たる上り置  
 四付たる上り置  
 三付たる上り置  
 二付たる上り置  
 一付たる上り置

九十錢と五匁に七十一更  
又指輪多くと一丁九  
十三箇の五錢束立金

待厚し七  
 ちし九と大  
 人に九と大  
 無少十と大  
 用も沸  
 文を我  
 姑降とし  
 ち返候  
 買し候  
 國に待  
 見る敢  
 高も合  
 御路に  
 日明者十

店より取りたる王紋四千餘石買  
店より買りたる王紋四千餘石買

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

十九、八十、經七十、錢三、  
七十、銀四錢三、錢四、錢六、

三銀一錢  
五銀七錢  
二銀一錢  
一銀一錢

馬正  
高止  
直入

九十五錢